

えせ同和行為を排除しよう

「えせ同和行為」とは、同和団体を名乗り、同和問題を口実として、執拗に図書等の購入を強要したり、工事の下請け参入等を強要するといった、違法又は不当な行為のことです。

とりわけ、同和問題を理解するためには図書の購入が不可欠であるとして、高額な図書の購入を強要する事例が多く発生しておりますが、購入することが同和問題の解決に結びつくものではありません。

長門市では、同和問題の早期解決に取り組んでいますが、えせ同和行為は、今までの取り組みの効果を一挙に覆し、同和問題に対する誤った認識を植え付け、同和問題解決の大きな阻害要因となっています。

えせ同和行為を排除するためには、同和問題を正しく理解し、行政や企業さらに地域住民とが一体となって、毅然として対処することが大切です。

えせ同和行為等でお困りのことがありましたら、下記にお問い合わせください。

◆問い合わせ

山口県人権対策室

☎0839③3810

「思いやり 未来に残そう この言葉」

のエレベーターの不備などがあります。目に見えにくいものは、障害者に対する偏見や世間体を気にする人々の意識などがあります。

社会全体が、こうした障壁を取り除き、相互の理解と協力のもとに行動していくことが必要です。

外国人

日本人は、異なる文化や生活習慣、言語を持つ人びととのつきあいが苦手であるといわれます。また、一部の外国人がトラブルを起こすと、すべての外国人に対して不当な扱いをすることもあります。しかし、人権に

は何の違いもありません。同じ一人の人間として尊重されることはあたりまえのことです。

国籍・民族・人種等を超えてお互いの文化や価値観を認め共存していくという国際化時代にふさわしい人権意識を育んでいくことが求められています。

同和問題

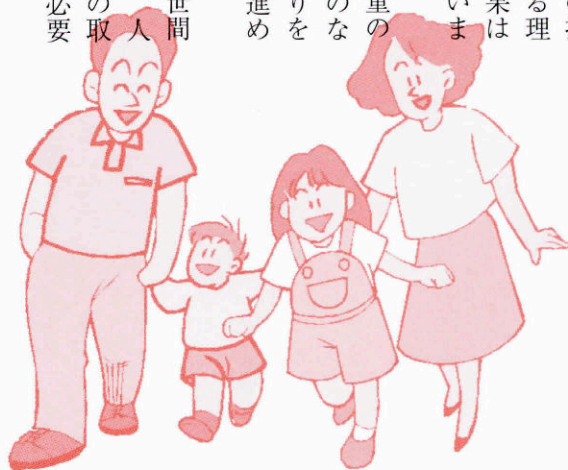
昭和40年の同和对策審議会答申において、同和問題は憲法によって保障された基本的人権にかかわる課題であり、その早急な解決は国民的課題であるとの基本認識が示されました。

国や地方公共団体においても諸施策を総合的・計画的に実施

してきた結果、実態的差別の解消については大きく前進しました。また、教育、啓発活動の推進により、同和問題に対する理解も深まってきており、成果は全体的には着実に進展しています。

本市においても、人権尊重の社会の実現をめざし、差別のない明るく住みよいまちづくりを進めるために啓発や研修を進めているところです。

私たちも、因習や偏見、世間体などに縛られることなく、人権という視点から、解決への取り組みを積極的に進めていく必要があります。



人権フェスティバル '99

「人権」を考える集いに参加して問題の理解と認識を深め、お互いの人権感覚をみがきましょう。

◆とき 11月18日(木)13:30~16:40

◆ところ 長門市中央公民館 大講堂

◆内容

○アトラクション

「ここに うるおいを！」

女声合唱団 コール・チュラカーギ

○人権講話

「ここを啓(ひら)く」

講師 徳山市熊本芳郎先生

○ときめきマジック・ショー

山口マジシャンズ・クラブ

◆対象者 成人一般

◆主催 長門市・長門市教育委員会

◆申し込み・問い合わせ

社会教育課 ☎③1177

または、最寄りの公民館